

第 28 回 茨城県民歯科保健大会

令和元年 11 月 17 日（日）、茨城県歯科医師会館にて「人生 100 年 いい歯は毎日を元気に」をテーマに、第 28 回茨城県民歯科保健大会を開催しました。オープニングでは、日本歯科医師会 いい歯は毎日を元気にプロジェクトで制作した動画を流し、よく噛んで食べることの大切さを呼びかけました。式典では、大会主催者の茨城県歯科医師会 森永和男 会長が、「歯と口の健康管理が生活習慣病予防や誤嚥性肺炎、認知症の予防、さらに、医療費の抑制と健康寿命の延伸につながる。予防を重視した『生きる力を支える歯科医療』を全力で進めていきたい。」と挨拶しました。



歯科保健大会主催者挨拶(森永歯科医師会長)



8020高齢者よい歯のコンクール表彰

開会行事に続いて行われた表彰式では、「**8020高齢者よい歯のコンクール**」の最優秀 1 名，優秀 5 名，シニア賞 1 名，歯科医師会長特別賞 2 名が表彰を受けられました。受賞者は、80 歳以上でほとんど自分の歯を失わずに健康な口を保ち、他の模範となる歯科保健習慣を実践されている方々で、会場では、受賞者のお写真とプロフィールを映写し、日頃の生活習慣などを紹介しました。受賞者のお元気で若々しいお姿に、会場から大きな拍手が送られました。

次に、「**親と子のよい歯のコンクール**」の最優秀 1 組，優秀 6 組の表彰が行われました。受賞者は、親子ともに健康な歯を保ち、家族ぐるみで歯の健康づくりに取り組んでいる方々です。可愛らしいお子さんたちがステージに上がると、会場が笑顔に包まれていました。



親と子のよい歯のコンクール表彰



歯と口の健康に関するポスターコンクール表彰

次に、県内の小・中学校から応募いただいた「**歯と口の健康に関するポスターコンクール**」の小・中学校の部のそれぞれ、知事賞，教育長賞，歯科医師会長賞，優秀，佳作の表彰が行われました。会場では、作品をスライドで紹介し、その工夫を凝らした素晴らしい作品が映されるたび、感心する声に沸いていました。

続いて「**茨城県歯科保健賞**」は、歯科医療について深い見識があり、医科と歯科の連携の重要性や、かかりつけ歯科医による口腔管理の大切さを広く発信されている医師の「**鴨志田敏郎**」様が表彰を受けられました。



歯科保健賞 表彰

また、県民の歯科口腔保健の向上に尽力されている「坂東市こども発達センター」様、「境町子ども未来課健康推進室」様、栄養教諭「梶智香」様には茨城県歯科医師会長から感謝状が贈呈されました。

受賞者全員の表彰の後には、よい歯のコンクール受賞者を代表して、親と子のよい歯のコンクール最優秀家中奈緒様より謝辞が述べられ、「毎日の夕食後の歯みがきや定期歯科検診を大事にしている。これからも家族で健康な歯を守っていきたい。」との言葉がありました。ポスターコンクール代表の中学校の部知事賞 横島彩花さんは、「歯の大切さを表現するため大きなりんごに8020と書いて、がぶりと噛む絵を描いた。一生懸命描いた作品が賞を受けてうれしい。」と述べられました。



受賞者代表 謝辞(よい歯のコンクール代表)



受賞者代表 謝辞(ポスターコンクール代表)

お2人のしっかりとした言葉に、会場全体が清々しい気持ちに包まれ、表彰式は閉会となりました。

表彰式会場前ロビーには、「よい歯のコンクール受賞者メッセージ」、「歯と口の健康に関するポスター作品」などが展示され、受賞者の皆様のご家族と写真撮影をしたり、作品を熱心にご覧になったりする様子が見受けられました。また、茨城ご当地よ坊さん「みがこーモン」が来場者をお迎えし、記念撮影に応じました。



ロビー展示

よい歯のコンクール受賞者メッセージ
歯と口の健康に関するポスター作品
歯科保健賞受賞者の取り組み
ひとにやさしい器 ユニバーサルデザイン笠間焼



みがこーモンが来場者をお迎え

受賞者、ご家族、関係者の皆様、ご来賓の方々の多数のご出席、誠にありがとうございました。